

令和4年度

恵那北小学校だより

10月20日号

げんきたっ子



仲間の力・自分の力

校長 市川 伸美

前期が終わり、今年度後期に入りました。運動場のイチョウの木が美しく色づき、朝晩の気温からも、秋の深まりを感じます。

学校生活の中で、成長し続ける子供たちの力の大きさには、感心することが多くあります。

9月28日に、飯地小学校・中野方小学校と合同で、5年生のデイキャンプを行いました。子供たちが決めたスローガンは、「お互いのよさを知り、仲を深めよう〜キビキビ動く・協力する」です。事前の打合せはオンラインで進めました。当日は、三校合同のグループで活動し、係活動も責任をもってやり遂げました。自分の学校に限らず仲良く活動する姿、名前を呼び合う姿、協力する姿、そして子供たちの笑顔から、このデイキャンプは大成功だったと確信しました。



グループで協力してテント立て



3・4年生一輪車競技「輪と輪と和」

10月22日の運動会に向け、「あきらめず、仲間と共に全力で」をスローガンに、全校で取り組んできました。代表委員会を中心に行ったキャンペーンは、低学年にも分かりやすい4つの約束（時間を守る・赤白帽子をかぶる・体操服を着てくる・ペットボトルを持ってくる）でした。応援団は、大きな声を出さなくてもみんなの心が一つになるように、ペットボトルで応援合戦の仕方を工夫しました。また、低学年の仲間にも左右が分かるよう、自分は鏡のように左右逆の動きで手本となり、教

えました。各学年でも、発達段階に応じてできることが増えています。例えば、一輪車に乗ることが得意でなかった子も、仲間と一緒に練習し、休みの日には学校へ来て練習をしたという話も聞いています。今では自信をもって乗れるようになりました。こうして努力したことで、自分の力を高めることもできました。

一人では不安なこともありますが、仲間といっしょなら共にやり切ることができます。一人一人が努力するから、全体の活動がスムーズに進みます。この「仲間の力」と「自分の力」により、子供たちはまた一歩成長しました。